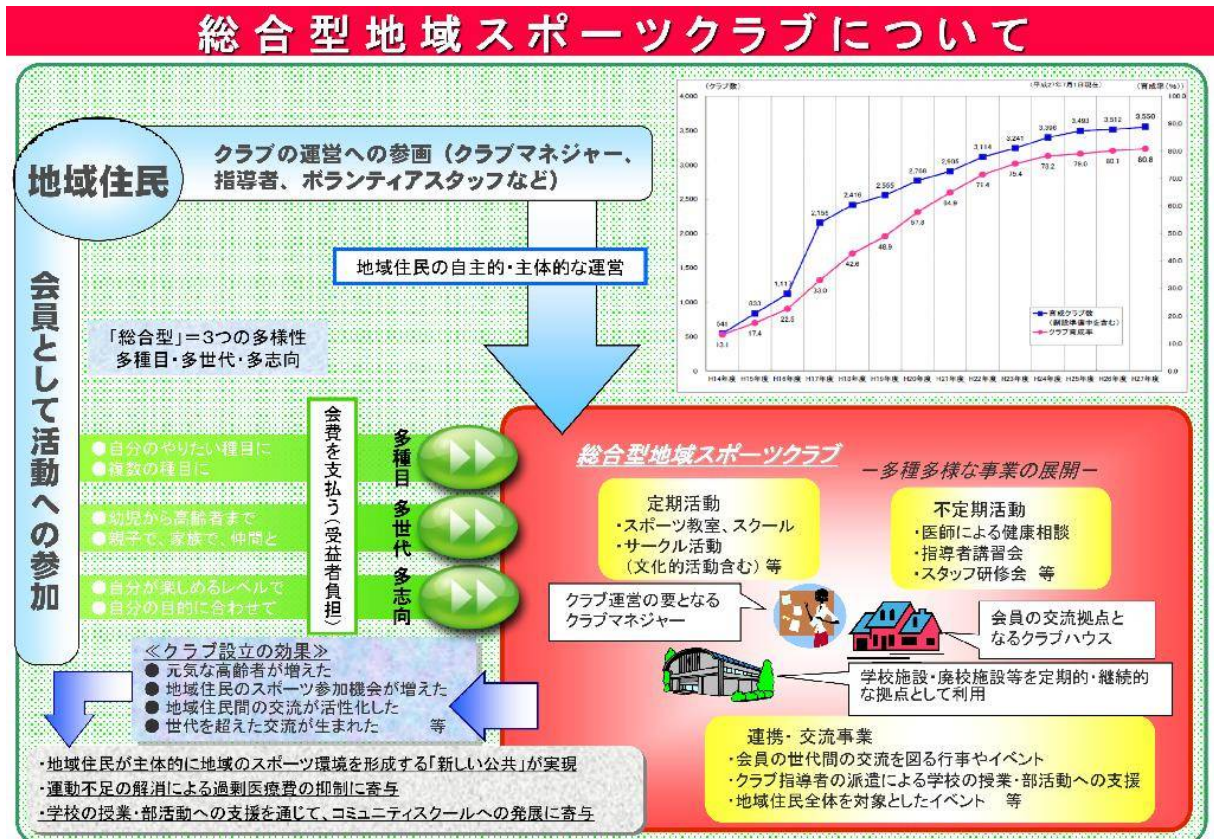


令和8年9月定例会 一般質問補足資料 1番 梅村 均

資料 1



資料 2

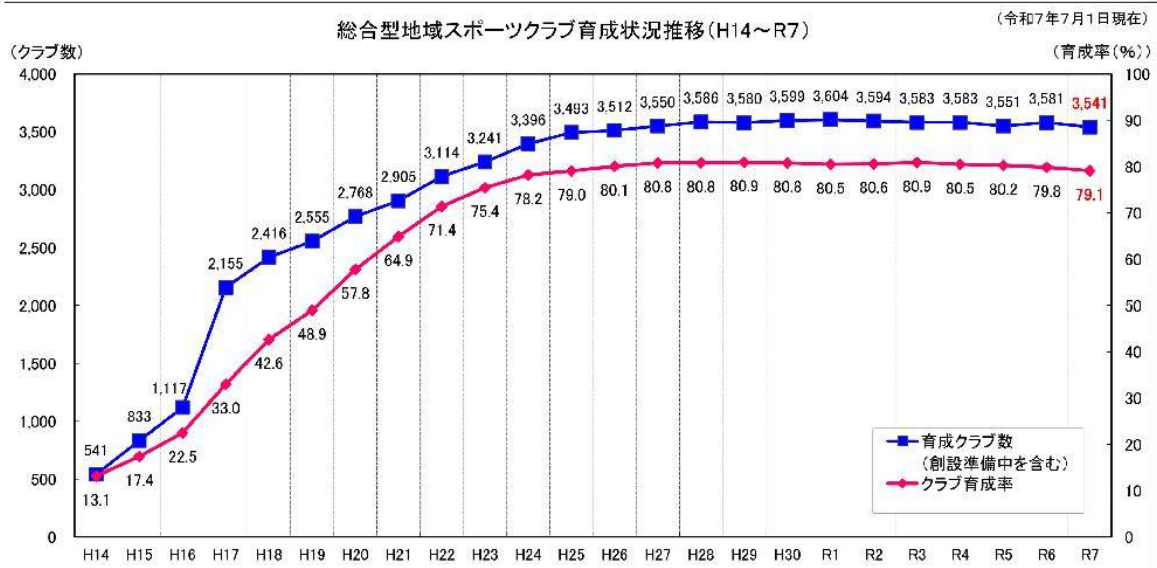
総合型地域スポーツクラブの設置状況

（令和7年7月1日現在）

✓ 育成クラブ数 令和7年度：3,541クラブ

✓ クラブ育成率 令和7年度：79.1%

※ クラブ育成率：全市区町村に対する総合型地域スポーツクラブが設置されている市区町村の割合

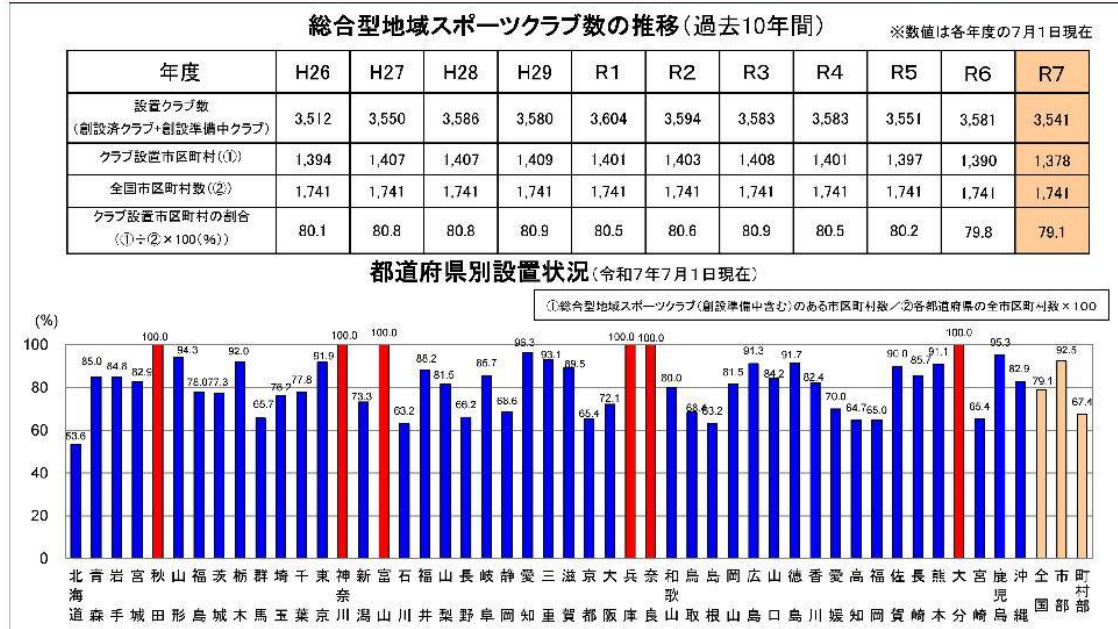


（スポーツ庁・公益財団法人日本スポーツ協会「総合型地域スポーツクラブに関する実態調査結果」に基づき集計）

1

総合型地域スポーツクラブ設置数、設置率

✓ 市区町村に対する設置状況：市部（特別区含む）**92.5%**・町村部 **67.4%**



(スポーツ庁・公益財団法人日本スポーツ協会「総合型地域スポーツクラブに関する実態調査結果」に基づき集計)

2

総合型地域スポーツクラブの学校運動部活動の地域展開に関する活動状況④

✓ 総合型地域スポーツクラブが運営団体・実施主体となる場合の課題については、「**指導者の確保**」が**86.7%**(R6:86.0%)となっており、指導者確保が引き続き大きな課題。

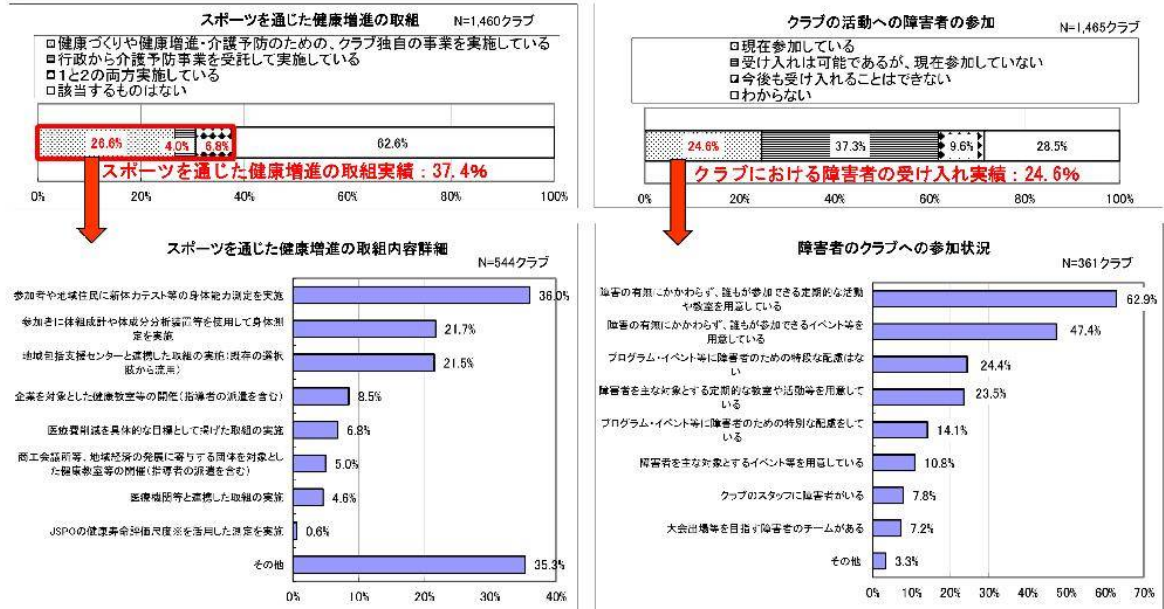


(出典)スポーツ庁・公益財団法人日本スポーツ協会「令和7年度総合型地域スポーツクラブに関する実態調査結果」

6

総合型地域スポーツクラブの特色ある取組①

- ✓ 総合型地域スポーツクラブは、**スポーツを通じた健康増進、障害者のスポーツ推進、子育て支援、学校との連携、スポーツによる地域活性化**など特色ある多様な取組を実施。

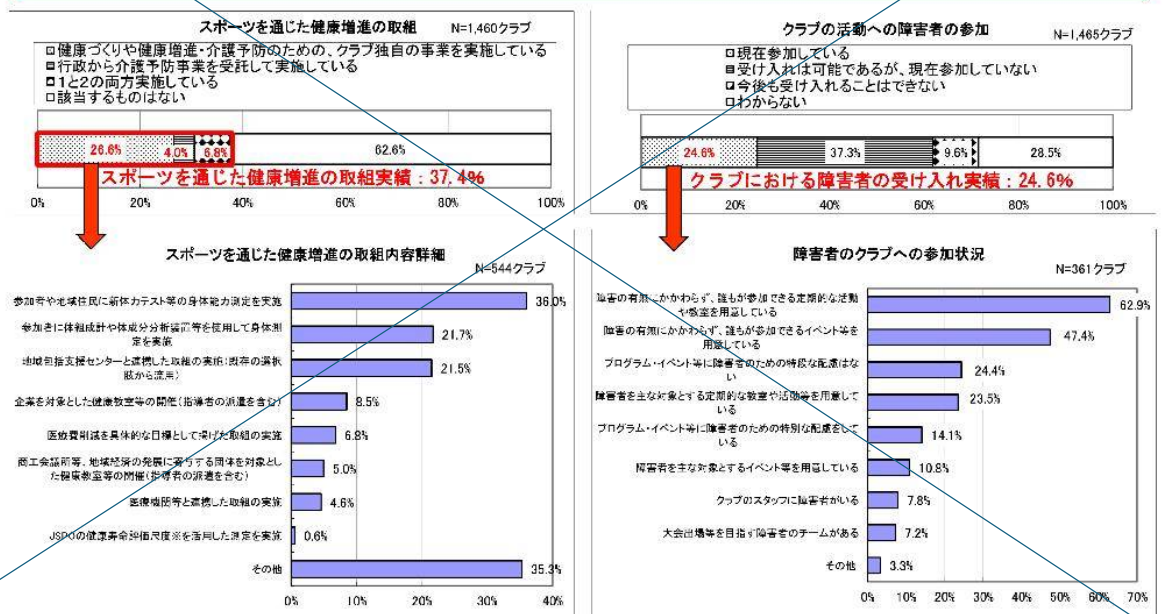


(出典) スポーツ庁・公益財団法人日本スポーツ協会「令和7年度総合型地域スポーツクラブに関する実態調査結果」

10

総合型地域スポーツクラブの特色ある取組①

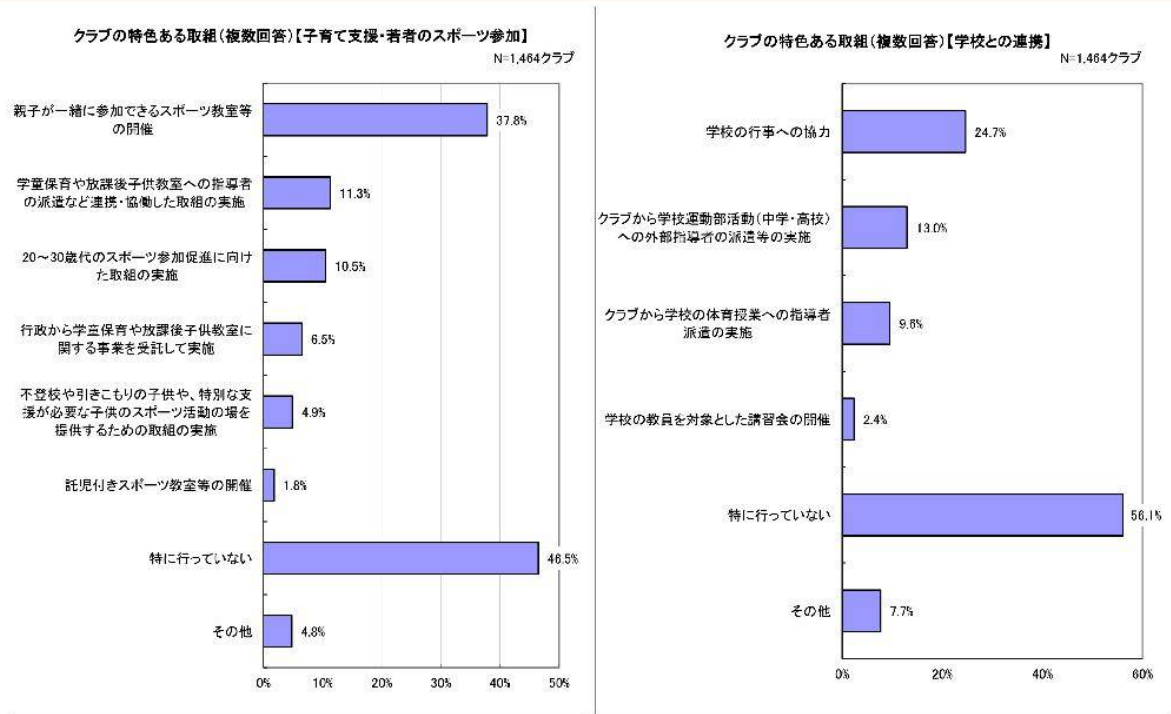
- ✓ 総合型地域スポーツクラブは、**スポーツを通じた健康増進、障害者のスポーツ推進、子育て支援、学校との連携、スポーツによる地域活性化**など特色ある多様な取組を実施。



(出典) スポーツ庁・公益財団法人日本スポーツ協会「令和7年度総合型地域スポーツクラブに関する実態調査結果」

10

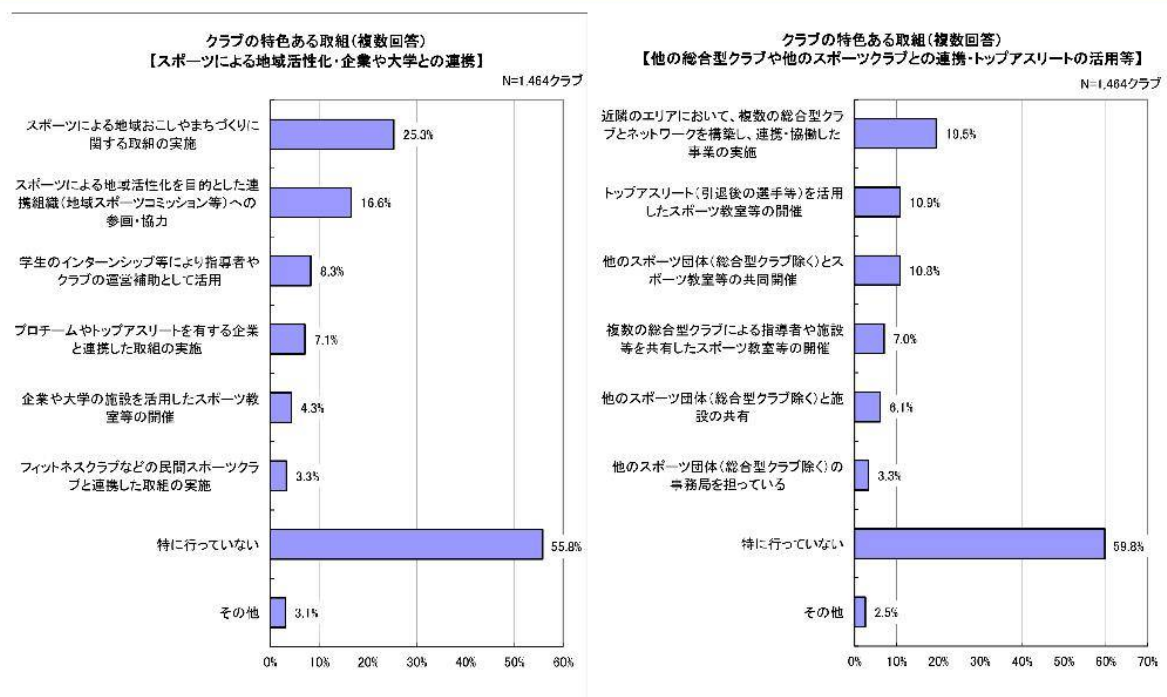
総合型地域スポーツクラブの特色ある取組②



(出典) スポーツ庁・公益財団法人日本スポーツ協会「令和7年度総合型地域スポーツクラブに関する実態調査結果」

11

総合型地域スポーツクラブの特色ある取組③

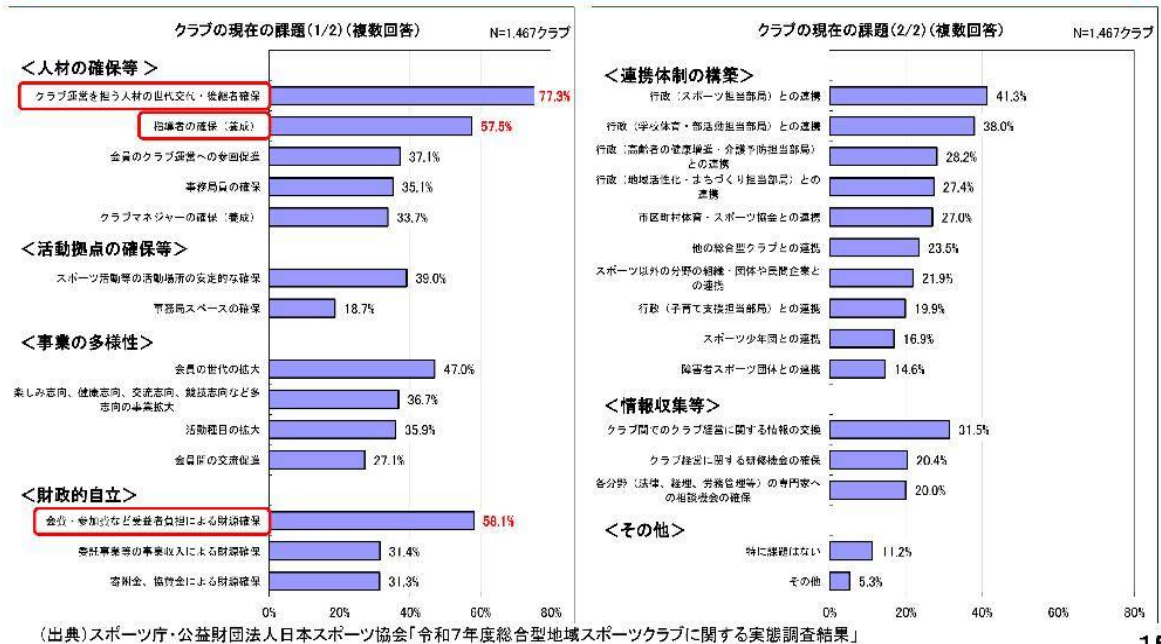


(出典) スポーツ庁・公益財団法人日本スポーツ協会「令和7年度総合型地域スポーツクラブに関する実態調査結果」

12

総合型地域スポーツクラブの課題

- ✓ クラブの主な課題は「人材確保」と「財政的自立」
- ✓ 「人材確保」では人材の世代交代、後継者確保、指導者の確保が課題
- ✓ 「財政的自立」では受益者負担による財源確保が課題



出典：スポーツ庁・JSPO

- 岩倉スポーツ
クラブ
- 会員種類
- 市ホームページ
より
- ・ **正会員** (クラブ経営に携わる資格を有する会員)
年額5,000 円と保険料
 - ・ **一般会員** (小・中学生)
年額1,200 円と保険料
 - ・ **一般会員** (高校生以上)
年額3,600 円と保険料
 - ・ **家族会員** (家族4人まで)
年額8,000 円と保険料
 - ・ **家族会員** (家族5人以上)
年額10,000 円と保険料
 - ・ **賛助会員** (クラブに賛同してくださる企業など)
年額一口10,000 円

エ 地域の実態

表21からは、スポーツ協会などを通して各所属団体に行った「中学生の受入状況に関するアンケート」の結果です。

これによれば、既に10団体に70名程度の中学生在が所属して活動しています（表22）。会の性格上、小学生あるいは社会人と多世代で交流しているものと思われます。また、「現状中学生はいないが参加できる」とする団体も12団体あります（表23）。これらの団体は、週2～3回、安価な会費（1回200円、月2,000円等）で活動している団体が多く、比較的参加しやすいと考えます。

一方で「参加できない」とする団体も17団体あります。ゴールやネットの高さが中学生と合わない、既に施設が一杯、指導者に余裕がない、異年齢で行うと危険など、やむを得ない理由がほとんどです。

表24は、中学生に指導できる種目別の指導者数です。種目は吹奏楽や野球など多岐にわたり、総計は55名です。このうち、平日にも指導できる人材は20名、顧問がいなくても単独で指導できる人材は28名です（表25）。

表26は、他の所属団体例です。市内及び近隣市町に拠点を置くクラブチームやスイミングスクールなど、中学生の受け入れ先は多岐にわたります。また、市が設立した岩倉市ジュニアオーケストラや、民間事業者であるサクラ・ミュージカル・カンパニーなどで活動する生徒も一定数います。さらに、昨今のダンスブームを受けて、総合体育文化センター指定管理者の自主事業であるキッズヒップホップに中学生の部が創設されるなど、新たな動きも見られます。

表21＜中学生の参加可能な団体数＞

既に参加している	10
いないが参加できる	12
参加できない	17

表23

＜受入可能な団体名＞

岩倉スポーツクラブ
岩倉市卓球協会
岩倉東新町空手道スポーツ少年団
岩倉南野球スポーツ少年団
五条川軟式野球スポーツ少年団
岩倉ソフトボールスポーツ少年団
岩倉市バウンドテニス協会
岩倉市インディアカ協会
岩倉市ソフトバレーボール連盟
岩倉市気功クラブ
岩倉健康太極拳同好会
エアロビクス&ダンスサークル

表25

＜地域人材の内訳 1＞

平日も指導可	20
休日のみ指導可	35

＜地域人材の内訳 2＞

単独でも指導可	28
顧問と一緒に指導	27

表26＜他の所属団体例＞

愛知FC一宮（サッカー）
なごや陸上クラブ
尾張中央リトルリーグ（野球）
岩倉キッズダンス
各種ラグビースクール
各スイミングスクール
岩倉市ジュニアオーケストラ
サクラ・ミュージカル・カンパニー

表22＜参加中学生数＞

岩倉市バレーボール協会	15
岩倉空手道スポーツ少年団	12
岩倉市剣道連盟	10
岩倉フットサルスポーツ少年団	10
岩倉市ソフトテニス協会	8
岩倉武道館剣道スポーツ少年団	8
岩倉南部館剣道スポーツ少年団	3
岩倉市民吹奏楽団	2
岩倉桜武館剣道スポーツ少年団	2
五条川空手スポーツ少年団	1
計	71

表24＜中学生に指導

できる指導者数＞

岩倉市民吹奏楽団	24
岩倉市北野球スポーツ少年団	2
岩倉市南野球スポーツ少年団	3
岩倉市卓球協会	3
岩倉市ソフトテニス協会	3
岩倉市バレーボール協会	3
岩倉市テニス協会	2
岩倉市ソフトボール協会	1
岩倉市卓球スポーツ少年団	2
岩倉スポーツクラブ	1
岩倉フットサルスポーツ少年団	1
岩倉ソフトボールスポーツ少年団	1
岩倉バドミントンスポーツ少年団	1
岩倉空手道スポーツ少年団	1
五条川空手スポーツ少年団	1
岩倉東新町空手道スポーツ少年団	1
岩倉南部館剣道スポーツ少年団	1
岩倉桜武館剣道スポーツ少年団	1
岩倉市インディアカ協会	1
岩倉市ソフトバレーボール連盟	1
岩倉市気功クラブ	1
計	55